

これでいいの？ 男の子の育て方

高原 泰子

今、幼稚園で男の子は……

物議をかもしそうなタイトルですが、まあ聞いてください。

五歳児のクラスが園庭で、二チームに分かれ、リレーをしています。ただ走るのではなく、トンネルをくぐり、ゴムひものハードルを飛び越え、最後につるしてある鈴をジャンプしてたたき、次の走者にタッチするゲームです。

A男は、トンネル、ハードルとうまくいききましたが、最後のジャンプで鈴に手が届きませんでした。「もう一回ジャンプ！ がんばれ！」の教師の声にもう一度やってみますが、ま

はないのか、と。

やさしい子が増えている

ある区で、幼稚園・保育園・小学校の教師、保育士の連絡会が開かれました。その中で、現代の子どもたちの様々な課題が挙げられました。

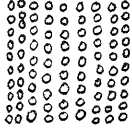
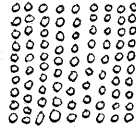
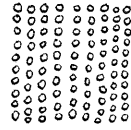
一方で、育っている部分は何か、という話し合いになったとき、幼・保・小共通の見解は、「やさしい子が多い」ということだったそうです。

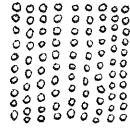
しかし、話し合いが進むにつれ、そのやさしさは、一見やさしいが、たくましくなれない裏返しの姿である、という結論になりました。たとえていえば、それは、誰かがケガをして泣いている姿を見た時、「先生、あの子が泣いてるよ。何とかしてあげて」というものであり、決して、自分からその子の側に寄り「大丈夫？ どこが痛いのか？」という姿ではない、ということでした。

現代の子どもは、大人とは通じるが、子ども同士の関わる力が弱っている、とよく言われることを裏付ける話だと思いました。

先ほどのA男、B男の話に戻ります。

保育現場で近頃とみに話題になっていることは、ちよつと語弊がありますが、男の子が情けなくなっている、ということですが、ジェンダーフリーの考えに異を唱えるつもりはありません。





していると思います。便利で豊かになった世の中が、男の子にたくましさを求めなくなつた、と言つたらあまりにも言いすぎでしょうか。

今の世の中、女性は老いも若きも元氣ハツラツ、男性はやや停滞気味、そんな風潮が子どもの社会にまで反映してる？　なんて、そんな単純なことではないのでしょね。男の子は生物学上、もともと弱い特質をもっている、と聞いています。女の子も同様に、優しさやたくましさを特質としてもともっているのでしょうか。子どもを健全に育てるには、良い点を伸ばしたり、負の部分を取換せたりする必要がありそうです。

A男やB男の姿をこのままにしておいたらどうなるのでしょうか。最近の問題行動を起す少年の育ちには、共通なものがあると言われています。

- ・ 豊かに育っていること
- ・ 甘やかされていること、あるいは放任されていること
- ・ 父親との関りが薄いこと

などです。特に男の子に問題が起きやすいということは、男の子の育て方が難しいからではないでしょうか。そして、現代社会が一層難しさを強めている気がします。

昔の知恵を今に活かして

「年寄りっ子は三文安い」。最近はまだ聞かれませんが、確かこういうことわざがありま

